

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.578

竹の子会総務委員会

平成28年3月10日

例会（新年互礼会）

日時：平成28年1月21日（木） 場所：四鳥



交流委員会
委員長
小林 明人

1月21日、1月度例会として新年互礼会が料亭四鳥にて開催されました。会員各位のご協力のもと、滞りなく事業を進め、終えることができました。まずはお礼申し上げます。

さて、新年互礼会は、現役会員とOB会員の交流を深める場として毎年行われてきました。恒例行事として定着した事業ではありますが、大先輩に接するだけに、現役会員にとっては少し緊張の思いがする場でもあります。事業計画を協議する役員会でも、OB会員との懇親を促進するためにどのような方策を採りうるかについて、熱心な議論が交わされました。諸先輩からできるだけ多くのことを吸収して、自身を成長させたいという強い要望が会員にはあるのだと感じました。

委員会としても、要望に応えるべく事業計画を練りましたが、即効性のある方策を見つけるのは難しいことでもありました。人と人との交流は、それを取り持つ仲介者にそれなりの技量が必要であり、何よりも当人の個性に依るところが大きい面があります。話し上手な方もいれば、口下手な方もいます。それでも顔を合わせる機会を重ねていく中で、徐々に慣れ親しんでいくのが自然な交流の持ち方とも言えますし、そうやって人間関係を構築していくことが竹の子会に参加する大きな意義の1つでもあります。そこで今回は、月並みではありますが、新入会員については可能な限りOBに紹介して会話のきっかけを作る計画としました。

例会当日は、私が仕事のため遅くなり、会場への到着が開会直前になってしまいました。会場準備、受付、ご案内、金銭の管理、出欠の確認などしていただいた委員会のメンバー並びに金山副会長には大変ありがたく思います。当日になって確定した

参加者の出席、欠席もありましたが、上手に対応していただいて、無事開会に至ることができました。

出席人数はOB、現役合計で47名でした。例年よりやや少ない人数ですが、それだけに会場全体にまとまりが感じられました。OBとの交流を持つという点では、むしろやりやすかったように思います。現役がOBと熱心に話し込む姿がそこかしこに見られました。来期の常任・役員予定者を紹介する際は、当初ごあいさつをいただくのは会長予定者のみからとする予定でしたが、会場から声が掛かり、全員から決意、抱負を述べていただきました。

計画どおり新入会員に付き添ってテーブルを回ったところ、新入会員がとても積極的にOBに話しかけ、交流を図っていました。これはとても驚きました。初年度の私は、もっと奥手でした。とても頼もしいことだと思います。

事業は滞りなく進み、終わりました。現役とOBの交流を図るという目的も、ある程度は達成できたと評価しています。その点では良かったのですが、他方で席順（上座、下座の順など）について、より適切な設定をすべきであったとの指摘もいただきました。参加者の皆さんに安心して楽しんでいただくための配慮が足りなかったことを反省しています。

竹の子会のOBは、見識の高い方々であり、地域における各分野のリーダーとして社会に貢献されている尊敬すべき方々です。今後とも、親しく接する機会を得る中で見識を深め、自らを成長させることができればと思います。



第61期常任予定者あいさつ



第61期
副会長予定者
三島 秀昭

みなさん、こんにちは。61期副会長予定者の三島です。担当委員会は、奉仕委員会になります。奉仕委員会では、交通遺児の方々と夏のつどい、クリスマス会、また奉仕活動を行います。この行事は、大垣竹の子会の最も重要な事業であると私は考えており、その担当にさせていただき、とても嬉しく思います。その反面、責任の重さと大きな不安を感じております。私は55期入会し、来期で7年目になります。これまで、親睦、奉仕、国際、総務委員会を経験させていただきましたが、やはり委員長、副委員長の立場で、最終的な判断は、上の人が出してくれるだろうという甘えがありました。その判断を来期61期は、自分がだしていかなければいけません。今までの役員会資料を見直し、経験者、先輩方からのアドバイスを聞きながら、適切な答えを出していきたいと思っています。

話はかわりますが、現在、会員減少に歯止めがかからず、事業を行ううえで、とても大変になってきています。自分の周りの先輩方も次々と卒業されて、気が付けば、会全体から見ると私は古いほうの会員になります。自分は35歳で、まだまだこれからの竹の子会で活動していく立場で、今のままだととても不安な状況にあります。常任として、林会長予定者のもと、これからの竹の子会をどうしていけばいいのかを、考えていく期でもあると考えています。ご存知でない方もいるかと思いますが、私は片親で3人子供を育てています。家庭、仕事、竹の子会と両立させながら、副会長として、自分ができる精一杯の事を全力で頑張っていきたいと思っています。私は竹の子会が大好きです。竹の子会で知り合った仲間の

おかげで、今の自分があります。そんな仲間を大切にし、仲間とともに、これからも竹の子会を盛り上げていきたいと思っています。最後になりますが、まだまだ勉強不足なところもありますので、皆さまのご支援、ご協力を何卒、宜しくお願いします。



第61期
副会長予定者
川上 祐輔

61期副会長を務めさせていただきます。58期入会、4年目の大垣竹の子会となる川上祐輔です。

58期奉仕委員会委員、59期渉外委員会副委員長・つどい協議会理事、60期親睦委員会委員長と務めさせていただきました。

この度、林会長予定者に依頼を受け、この要職を務めさせていただくこととなりました。初めての経験で不安な事ばかりですが、今まで学んだことを生かしていきたいと思っています。

林会長予定者には58期の奉仕委員会でご一緒させていただいたこともあり、なにかと気にかけていただき大垣竹の子会のいろはを教わったと思います。そのほかにも、先輩方に頂いた多大な恩を少しでもお返しできたらという思いもあり、61期副会長を務め上げていけたらと考えています。

昨今、世の中の情勢や会を取り巻く状況も大きく変わりつつあります。会員減少に伴い一人一人に対する負担は大きくなっています。今までは難なくできた事業や運営も思い通りにはいかないという事態も入会して4年間多々遭遇しました。決してネガティブに捉えているわけではありませんが、向上心をもって会に参加した会員がマイナスイメージをもったままやっていかなければならないという事があるというのも会の現状だと考えます。



Dr. Y. Nakamura



皆様にご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い致します。

大垣つどい新年互礼会

日時：平成28年1月9日（土） 場所：中川ふれあいセンター



渉外委員会
委員長
沼波 周蔵

皆さんこんにちは、渉外委員会委員長の、沼波周蔵です。去る、1月9日に大垣市青年のつどい協議会の新年互礼会が行われました。当日は、会場設営の準備をお願いされましたが、多数の会員の皆様から助けていただき、ありがとうございました。

今期はじめて、つどいの歴代会長の方々の皆様と懇親を深める場になり、つどいの事業の楽しさや難しさを聞ける場になりました。そして竹の子会の会

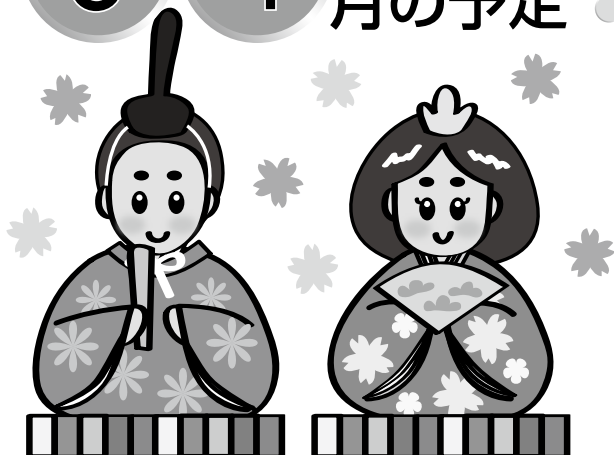
員の方も、つどい協議会のメンバー達と、新年のあいさつを交わし良き時間を過ごす事ができました。来年度の、大垣市青年のつどい協議会の役員予定者の紹介の場もあり、竹の子会からは、山下洋平会長予定者、日比野直哉副会長予定者、そしてわたくし、沼波が事務局長予定者として、来期への挨拶をさせていただきました。自分は、来期で卒業になりますが、今まで培った経験を生かし、来期のつどい協議会が盛り上がるよう頑張りたいと思いますので、これからも皆様からのご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



3

4

月の予定



例会（新入会員例会）

日 時：平成28年3月22日（火）
場 所：大垣市総合体育館

例会（60周年記念事業 竹の子フェスタ）

日 時：平成28年4月3日（日）
場 所：大垣公園・大垣城ホール